

7月

就業支援研修 1日単独コースを開催しました！



京都府ナースセンターでは、看護職として再就業を目指す方を対象に、7月3日・10日・17日・24日の4日間、「就業支援研修 1日単独コース」を開催しました。4回の研修を通して延べ45名の方が受講され、知識や技術だけでなく、「もう一度、看護の現場へ」という思いを後押しする時間となりました。



講義の様子

研修で大切にしたこと

医療や看護職を取り巻く環境は、日々変化しています。

今回の研修では「看護の今」「倫理的であること」、「高齢者のスキンケア」、「摂食・嚥下と口腔ケア」、「認知症の看護」をテーマに、看護協会会長と3名の認定看護師から学びました。

知識や技術だけでなく、看護師としての気持ちや心にも響く講義を通して、これからの仕事に向けた自信や一歩につながることを目指しました。

4回の研修、それぞれの学び

7月3日

「看護の今」
「倫理的であること」

講師：京都府看護協会 会長

看護師の役割を改めて考え、より健康に生きることを支える視点を学びました。

7月10日

「高齢者のスキンケア」

講師：皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚トラブルの原因と対策を根拠立てて学び、被膜剤の体験も行いました。

7月17日

「摂食・嚥下と口腔ケア」

講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師

食べることを支えるための知識と日々のケアについて学びました。

7月24日

「認知症の看護」

講師：認知症看護認定看護師

その人らしさを大切にしたい関わりなど、現場で必要な視点を学びました。

講師からのメッセージ

「看護師は、療養上の世話や診療の補助だけでなく、より健康に、そして健康を推進することも支える存在ではないか」

この視点に、受講者からも納得の声が聞かれました。日々変化する医療の中で、看護師としてどのような視点を持ち続けるのか、知識や技術だけでなく「看護とは何か」を考える機会となりました。

受講者の声 一志をもう一度

- ◆ 「やはり看護師が好きだ。もう一度頑張ってみようと思いました」
- ◆ 「ようやく新しい職場で仕事に就くので、とても参考になりました」
- ◆ 「自信をなくしかけていましたが、看護の志に火をつけていただきました」

研修後の交流会では・・・



それぞれの「今」を語り合いました！

再就業に向けた不安、内定が決まるまでの経過や心の変化、就業したばかりの方の悩みや仕事のやりがいなど、率直な思いが語られました。同じ思いを持つ仲間との出会いも、次の一歩を支える力になります。

ナースセンターより

「もう一度、看護師として働きたい」あなたへ

ブランクがある、今の看護についていけないか不安、新しい環境の職場でやっていけない心配…。そんな思いがある方へ。就業支援研修は、学びながら自分の中にある「看護師として働きたい」という気持ちを養う機会です。あなたの「もう一度」を、京都府ナースセンターが応援します。

◆ 次の一歩を一緒に始めませんか！

次回、1日単独コースのご案内

- 11月 6日（金）「医療安全」
- 11月12日（木）「急変に気づくこととその対応」
- 11月16日（月）「薬剤の投与と管理」
- 11月24日（火）「感染予防対策の基本」

※ 詳細は、ホームページをご覧ください。